



記事 どう書くの？

宝永小児童 新聞作り学ぶ



取材内容などを話し合う児童＝30日、福井市宝永小

福井市宝永小で30日、4年生35人が新聞記事の書き方や見出しの付け方などを学ぶ授業が行われた。児童による「編集会議」も行われ、今後製作する学校新聞で何を取材するかなどを話し合った。

児童は国語学習で、同校を紹介する新聞作りを取り組む。今回の授業には、福井新聞社NIEコーディネーターの徳島泰彦さんを講師に招いた。徳島さんは「新聞の役割は伝えること」とし、どの時代の読者にも伝わる内容であることや重要なことは最初に書くことなどを説明した。児童は実際に新聞記事から「5W1H」を探しながら、記事に必要な要素を学んだ。また、10班に分かれて記事の内容やどの記事を大きく扱つかなどを話し合った。宝永の歴史について取材したい」「スポーツ万能の先生を取り上げたかどうか」などと活発に意見を出し合った。橋本隼人君は「記事の書き方など初めて聞いた話もあった。いい新聞ができそう」と話していた。

(杉本拓磨)